

50 周年記念誌大枠

基本事項

依頼内容

: 中学校の創立 50 周年式典で配布する記念誌のデザインと印刷

おおまかなイメージと写真、文章はこちらで用意出来ます。デザインと記念誌発行に関わる実務をお願いします。ゼロからの作成と印刷物納品までのご経験がある方をお願いしたいです。

サイズ : A4

ページ数 : 12

部数 : 800 部

配布時期 : 2024 年 7 月 (7 月 1 日納品)

納品形式 : 冊子

予算 : 約 15 万円 (デザイン料、冊子印刷代、送料などすべて込み)

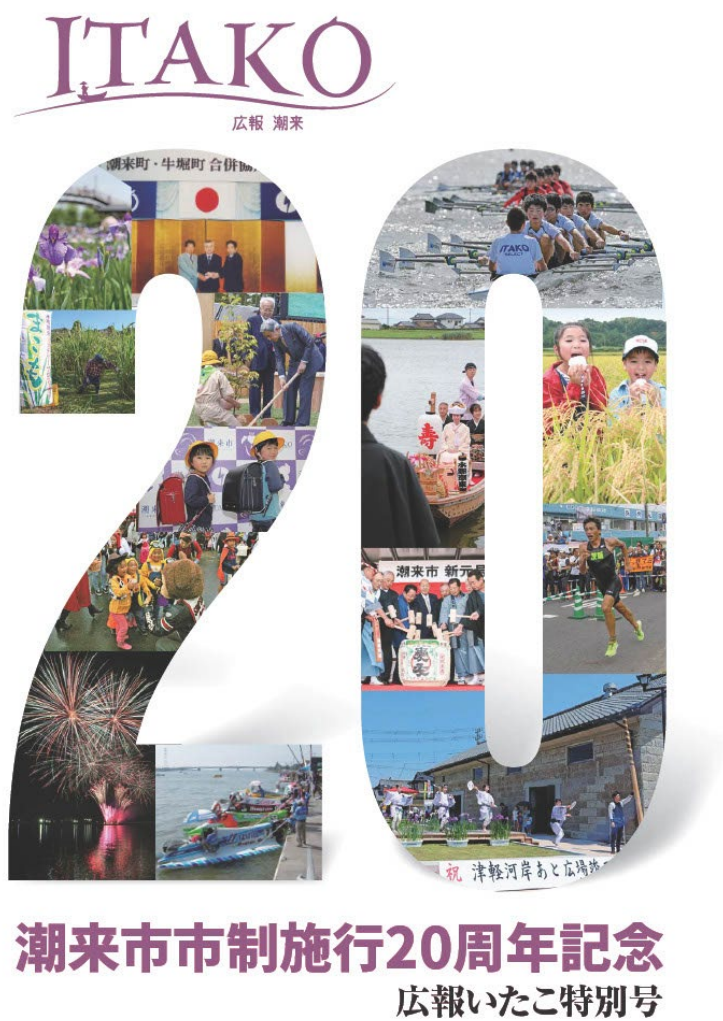
イメージカラー 黄色

イメージアイテム たんぽぽ さくら

表紙

- 5に昔の写真 0に今の写真を載せたい
- 記念誌のタイトル ※学校に確認

イメージ



P1・P2 マップ(豆知識)

↓の航空写真(加工済み)から引き出し線をいれて、マメ知識を加えたい

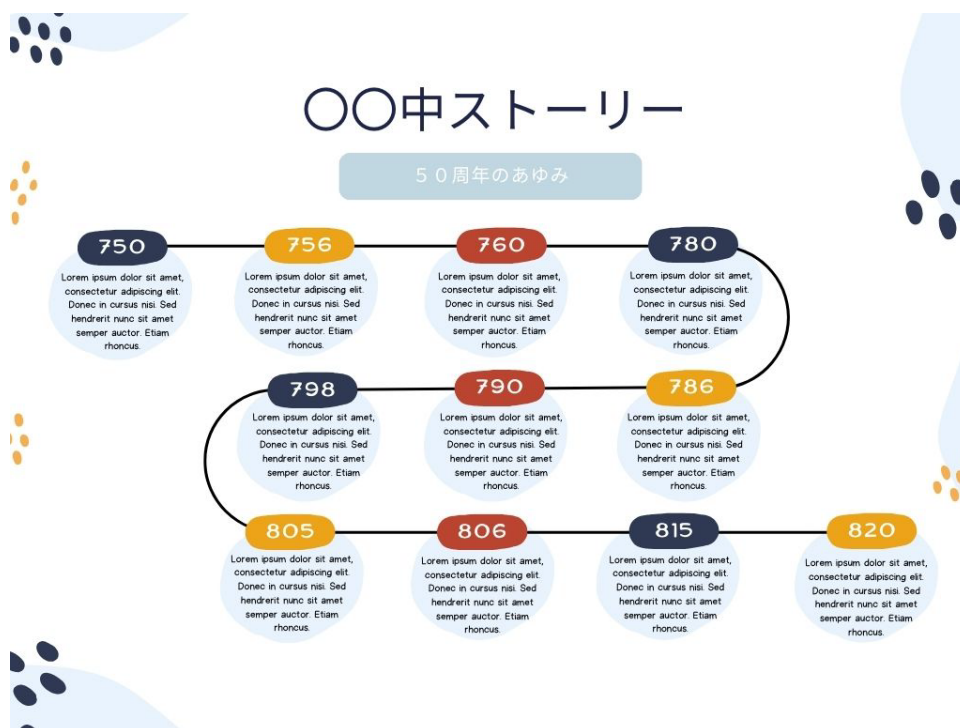


- 記念樹や日時計
- 校舎の東側は増設予定だった名残がある
- もともとは市民プールだった

イメージ



イメージ



1980

● 1984年 ● 1985年 ● 1989年

● 1984年 経団連会館落成
（日本最大の民間ビルに建築費を助成）

● 1985年

● 1989年 「経団連会館」が完成
（日本最大の民間ビルに建築費を助成。当初400坪の予定だが600坪以上に拡大し、完成までに4年6か月の歳月を要した。）

1990

● 1990年 ● 1992年

2色刷り印刷機「SUCH-2」試作成功
（東京で完成させた27坪の公営住宅の印刷機の小規模な改装工事に際して、製作費用を助成。）

● 1990年 「経済新報」事業をスタート
（印刷機やインキなどの販売が中心で、印刷会館の定款に基づき、市営の印刷会館を設立し、貸し出しサービスを開始。）

2000

● 1994年 ● 1995年 ● 2000年 ● 2005年

「ジャクラ」制作
（著名デザイナー・中野実太郎の作品によるマークは、1994年に制作された。）

「ジャクラ」制作
（「ジャクラ」が完成。印刷会館の経営の方向性、印刷機やインキの供給を決定。翌年4月にジャクラ第1期に開校。）

● 2000年 DTP教室の講座内容を拡充
（印刷に力を入れた印刷工場に関する知識や、印刷機やインキで得られる効果、Web印刷の講座を新たに追加、スカラーの名前を登録。）

● 2005年 ジャクラ50周年記念誌発行
（ジャクラ創設の経緯の方向性、印刷機やインキの供給を決定。印刷会館の経営を決定し、市営の印刷会館を設立し、貸し出しサービスを開始。WebサイトでのDTPのダウンロードを開始。）

2010

● 2015年 ● 2018年

ジャクラコンテスト第1回「Design魂魂」
（DTPオペレーターを対象とした競技대회。イラストレーターも参加可能。優勝者にリトリブオペレーターを決定）

● 2015年 ジャクラコンテスト第4回
（Design・Illustrator・Webの3部門の大会を開催。優勝者は「WebDesign」の項目に優勝。）

1984年 経団連会館完成
（日本最大の民間ビルに建築費を助成）

1989年 「経団連会館」が完成
（日本最大の民間ビルに建築費を助成。当初400坪の予定だが600坪以上に拡大し、完成までに4年6か月の歳月を要した。）

1994年 「ジャクラ」制作
（「ジャクラ」が完成。印刷会館の経営の方向性、印刷機やインキの供給を決定。翌年4月にジャクラ第1期に開校。）

2000年 ジャクラ制作
（「ジャクラ」が完成。印刷会館の経営の方向性、印刷機やインキの供給を決定。翌年4月にジャクラ第1期に開校。）

2010年 ジャクラ制作
（「ジャクラ」が完成。印刷会館の経営の方向性、印刷機やインキの供給を決定。翌年4月にジャクラ第1期に開校。）

P5・P6 挨拶

50 周年を記念して贈る言葉を

4人 市長、教育長、校長、元校長の 4 名

- ・タイトル
- ・本文(200 文字程度) ※学校にお任せ

イメージ



P7・P8 ○○中ストーリー(写真)

- 昔と今の写真を載せたい ※昔の写真を多めに
- 50 年前にタイムスリップ
- 入学式、合唱コンクール、運動会、修学旅行、卒業式、授業風景(今は ICT など)

イメージ



「川崎駅」市民ミュージアム所蔵 昭和44年撮影



「新館名物」市民ミュージアム所蔵 昭和45年撮影



「川崎駅前風景」市民ミュージアム所蔵 昭和47年撮影



「海苔まつり」市民ミュージアム所蔵 昭和46年撮影

川崎駅周辺の様子



「おはよう川崎」川崎区役所所蔵 昭和47年撮影



「保川町」市民ミュージアム所蔵 昭和47年撮影



「区制施行 川崎区役所開設式」川崎区役所所蔵 昭和47年撮影



「区制施行時の式典の様子」川崎区役所所蔵 昭和47年撮影



「区制施行時の式典の様子」川崎区役所所蔵 昭和47年撮影



「区制施行時の式典の様子」川崎区役所所蔵 昭和47年撮影



「ミス川崎」市民ミュージアム所蔵 昭和47年撮影



「パレード風景」市民ミュージアム所蔵 昭和47年撮影



石坂



チネチッタ通り



川崎駅東口駅前広場



川崎区役所



川崎区役所大田支所



川崎区役所田島支所

現在の様子

現在の様子

P9・P10 ○○中のここが好き

- 生徒会にアンケートの協力をお願いできないか？
- 生徒は顔出しは出来ないの、アイコン(似顔絵)とニックネーム(ラジオネームみたいな)を載せてみてはどうか
- 後ろ姿とか個人が特定できない形で写真を載せたい
- イメージ図のような 50 周年のプラカードを作って顔を隠して写真を載せることは出来ないか？(デザインを美術部に頼めないか)
- クラス単位や部活単位、お友達同士などで
- 校長教頭など、大人は顔出し出来るか？

イメージ



P12 裏表紙

校章や校歌、制服、ジャージの誕生エピソードや豆知識を載せる

イメージ

市章

(昭和41年[1966] 制定)

戸田市の「と」と「田」を一体化したもので、「融和・団結」と産業、文化の飛躍的「発展」を象徴しています。



ハーモナイズドマーク

(平成5年[1993] 制定)

新しいシンボルマークとして制定されました。交流・発展していく戸田市の未来像、ふれあう人々のあたたかさ、エネルギー、いやかに流れる荒川、あふれる自然と緑などをイメージしています。

やさしいまちに、なりた。



市の花 サクラソウ

(昭和51年[1976] 3月12日制定)

かつては荒川流域の戸田ヶ原などに繁殖し、江戸時代には春の訪れとともに江戸からも多くの人たちが見物に来ることもありました。現在では自然環境の悪化に伴い絶滅に近い状況となっていますが、戸田にゆかりの深いこの花を再びよみがえらせ、長く継承したいということから選ばれました。



市の木 モクセイ

(昭和51年[1976] 3月12日制定)

常緑樹のモクセイは開花時にはあたり一面芳香がただよいます。古くから庭園などにも多く植栽されて親しまれています。結実や増殖も容易で市民生活の中で身近な樹として活用が期待されることから選ばれました。



【展示協力者・機関】(敬称略、五十音順)
 伊田良久 老川慶喜 大竹仁 大沼一雄 純木聡 佐藤勝巳 古澤立巳 森内優子 山田一郎
 荒川水循環センター イオンモール北戸田 埼玉県住宅供給公社 埼玉県立南埼玉高等学校 埼玉県立文書館 戸田競艇組合(ボートレース戸田)
 戸田公園管理事務所 戸田中央病院
 上戸田南保育園 戸田市議会事務局 戸田市政策秘書室 戸田市消防本部 戸田市都市計画課 市内小・中学校

【凡例】
 ・本冊子は、戸田市市制施行50周年を記念して開催し、平成28年(2016)10月1日(土)から11月27日(日)までを会期とする戸田市立郷土博物館(以下「当館」という。)第26回企画展「今昔写真帖〜戸田市の歩み〜」の展示案内冊子である。
 ・本展示の企画及び構成は当館学芸員石川達也が行い、岡崎井薫子・最上志乃・山田あさぎが補佐した。また、写真の選定、撮影場所の特定には当館パートタイム職員山口ふみ子・御園生誠子の協力を得た。
 ・本冊子の編集及び執筆は石川が担当した。
 ・展示資料と掲載資料の順序は一致しない。また掲載資料は展示資料の一部である。
 ・掲載資料は、特に記した場合を除き当館の所蔵である。
 ・写真の年代は、撮影年(推定を含む)である。
 ・本冊子の無断複製・転載は、著作権法上の例外を除き禁止する。
 ※展示・掲載資料の内、著作権等の保持者・継承者などが不明となっている資料があります。お心当たりの方はご連絡ください。



編集・発行：戸田市立郷土博物館

〒335-0021 埼玉県戸田市大字新曽1707番地 TEL.048-443-5600 FAX.048-442-8988
 E-mail:hakubutu@city.toda.saitama.jp http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/337/

平成28年(2016)10月1日発行